

妙法華寺便り

令和3年10月号

◇ 行事報告 ◇

9月18日（土）摩利支天月例祭

本堂にて執行いたしました。

暑さ寒さも彼岸までと申します。すっかり秋めいてきたと話を進める予定でしたが、本日も暑いですね。新型コロナウイルスの感染者が少なくなりつつあります。このまま収束に向かっていって欲しいものです。

さて、妙法華寺のお彼岸会は昨年より明後日の9月20日に固定されました。お塔婆も準備できて式典を迎える用意が調ってまいりました。

春と秋の彼岸会は日蓮宗では特に施餓鬼法要の形をもって執り行います。ご先祖様のみならず、その霊位に纏わる一切の諸精霊にも功德が行き渡るようにとの願いがこめられています。諺に「情けは人の為ならず」という言葉があります。これは「情けは人の為にならない」という意味ではなく、「人にかけて情けは、巡って結局は自分のためになる」という意味です。多くの諸精霊に分け与えられた功德は回り回ってその家を守護して下さいなのです。

当山では地神様の左横の三方をその場所として定めており、施餓鬼供養の日には無縁の諸精霊にもお膳を用意して施しをさせて頂いております。皆様の功德が見えない



無縁仏の供養になっています。目に見えないものを大切にすると良いことが増えてきます。日々ご先祖に感謝して合掌の心を持って過ごしていきたいものです。

また、当山のお地蔵様が建立して2周年を迎えました。帽子とよだれ掛けは、富山直子様のご供養です。ありがとうございます。

9月20日（月・祝）秋季彼岸・施餓鬼会

午後1時より、庭瀬組寺のお上人方と共に秋季彼岸法要（施餓鬼会）を執行いたしました。檀信徒の皆様よりより申し込まれた塔婆に水向けを行い、香を焚き、お経を唱え、ご供養いたしました。本年も新型コロナウイルスにより、マスクをして、席を空けながらの法要でしたが、皆様の協力により、無事執り行うことが出来ました。ありがとうございました。

また、当日のお世話・ご接待、事前準備、片付けをして頂きました総代世話人をはじめお手伝いいただきました方々に感謝申し上げます。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

11月18日（木）・12月18日（土）午前10時より執行いたします。

只今当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

お会式法要

11月20日（土）お逮夜・翌21日（日）に執行いたします。

20日は午後6時より、21日は、午前10時より一座目、午後2時30分より最終座を始めさせていただきます。（21日の一座目と最終座の間は随時）マスクを着用してお参りください。

妙法華寺便り9月号でもご案内させていただいておりました「御浄財」を宜しくお願いいたします。また、お寺から直接案内させて頂く檀家の方には、案内文と振り込み用紙を同封させて頂いておりますので、宜しくお願いいたします。

◆ 戸守経のご案内 ◆

11月に入りましたら、近郊のお檀家の方には、年末の「戸守の御経」の連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。また、新年を迎えるにあたり、台所・トイレ等の紙札を希望される方は、お寺までご連絡下さい。